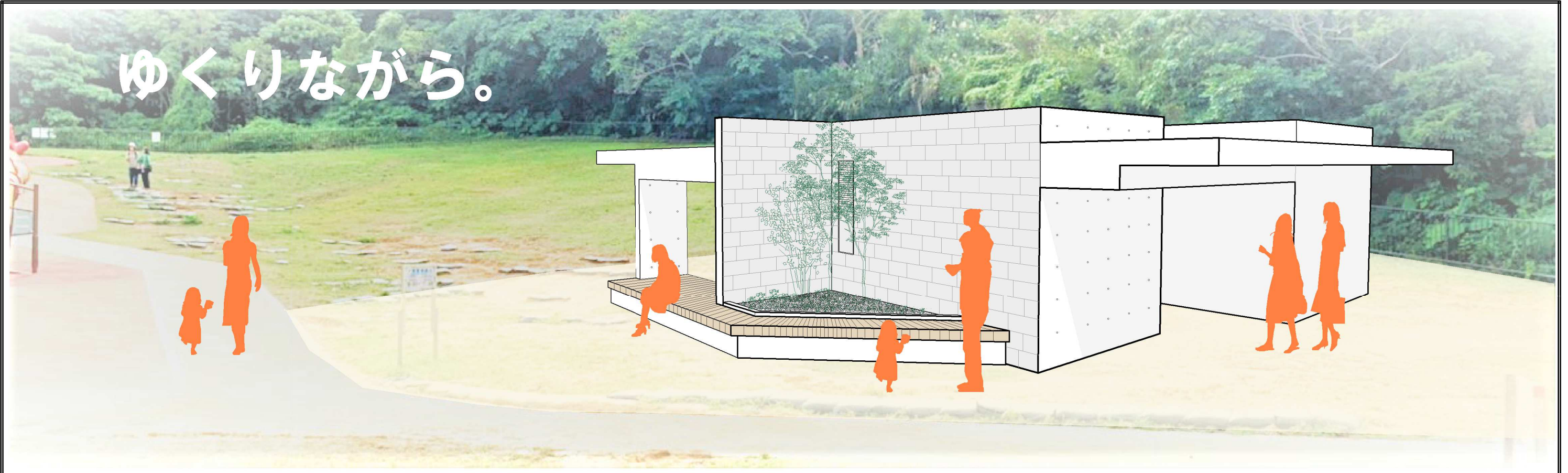


ゆくりながら。



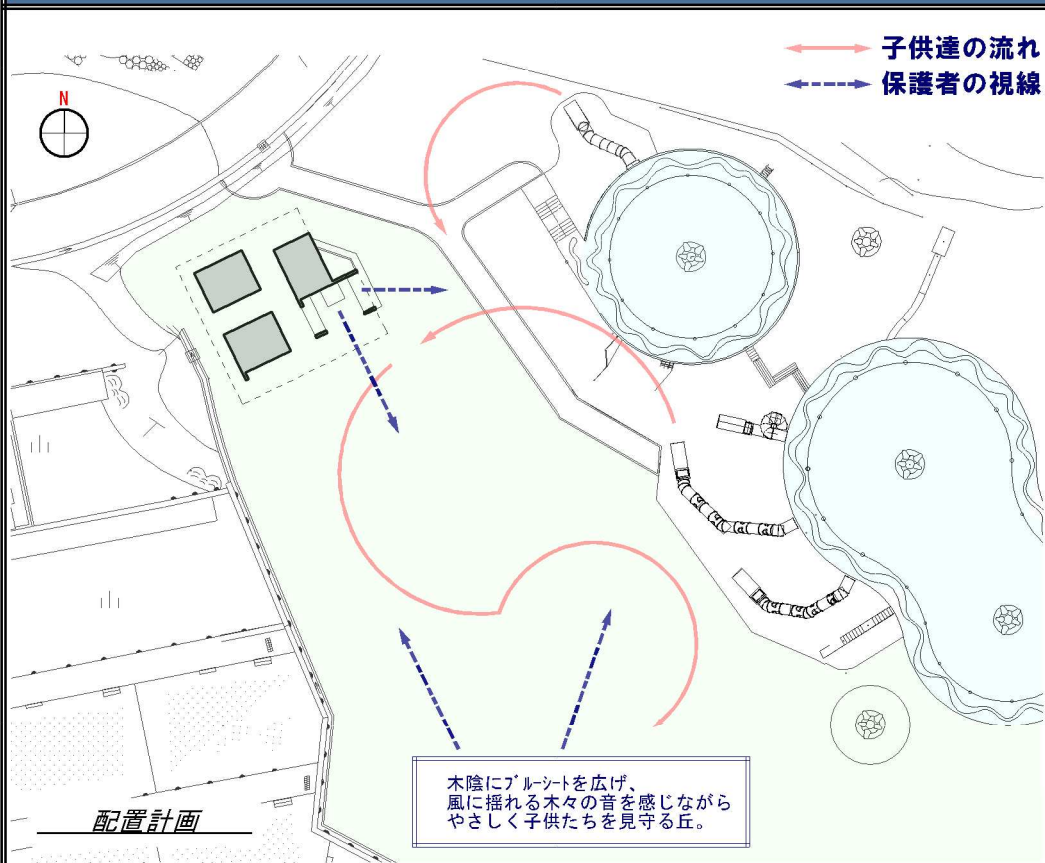
～中城城跡を核として歴史、文化、自然を体験できる場へ整備される中城公園～
 人気のトランポリンで“飛び跳ね”、大きな芝生を“駆け回り”、自由に丘を“転がる”。
 丘の上は昼過ぎには木陰となり、ブルーシートを広げて団らんしつつ、子供たちを見守る。
 小さい子供たちも使用する事に配慮し、より安心して遊びに来られる地域の公園にしたい。
 利用者に寄り沿った計画をと考えました。

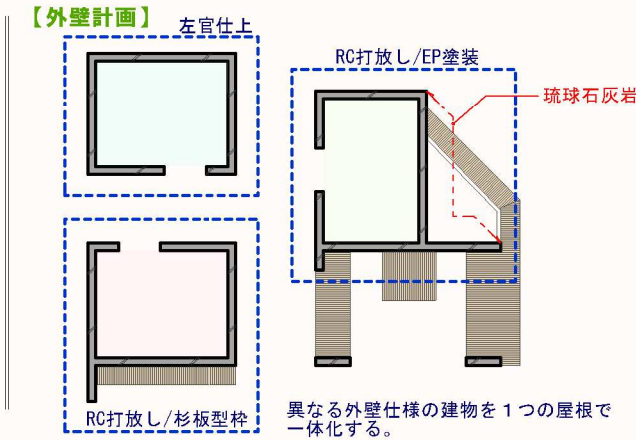
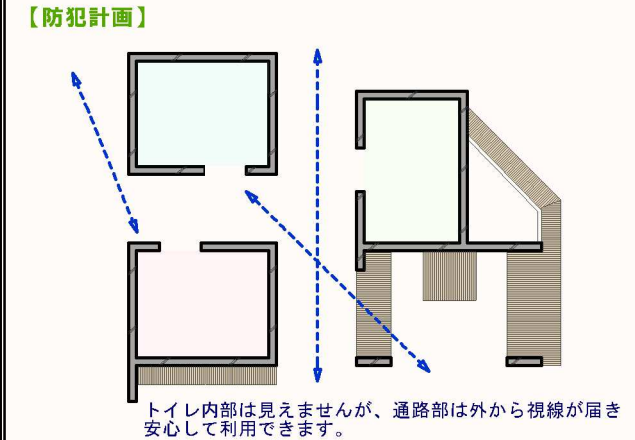
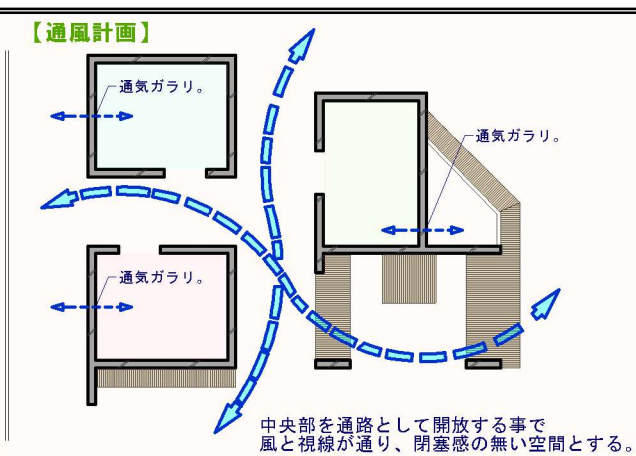
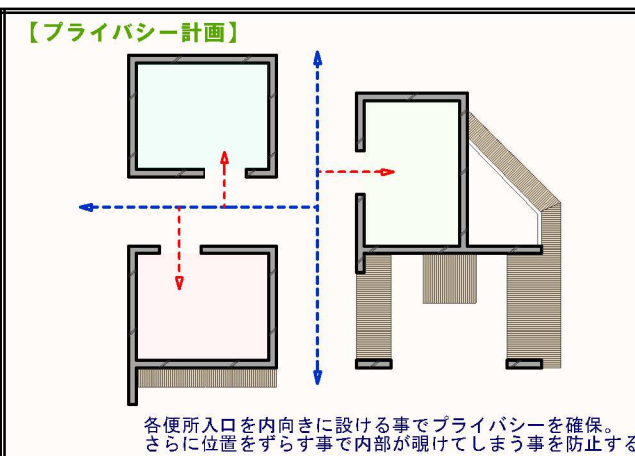
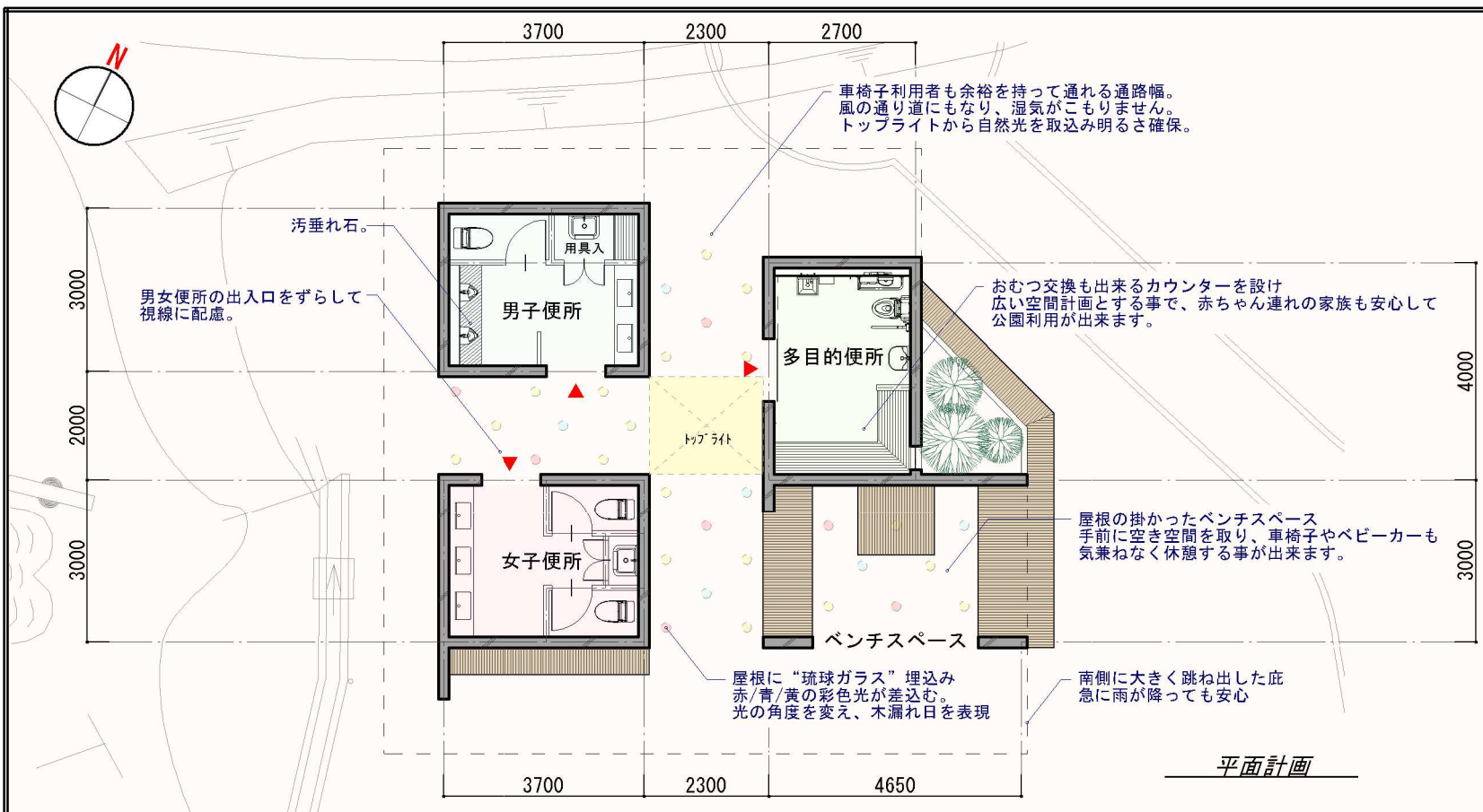
■景観配慮

高さを出来るだけ抑えた陸屋根で計画する事で丘上からの視線を遮らない。“RC”“左官仕上”“杉板型枠”“琉球石灰岩”と外観パターンを変え沖縄の自然が生み出す景観との調和を図ります。

■バリアフリー

丘の最下部に配置計画する事で、公園歩道から概ね平坦に計画する事ができる。小さい子供やベビーカー、車いす利用者も安心して利用することが出来ます。



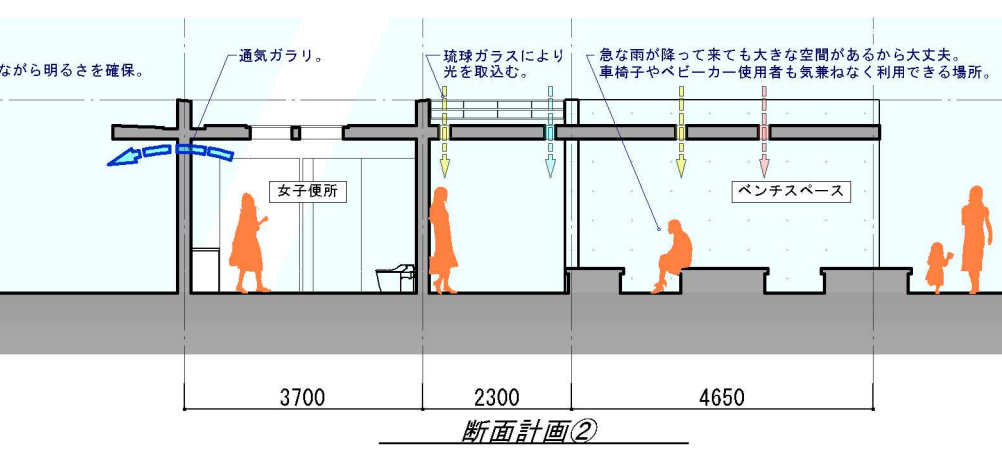
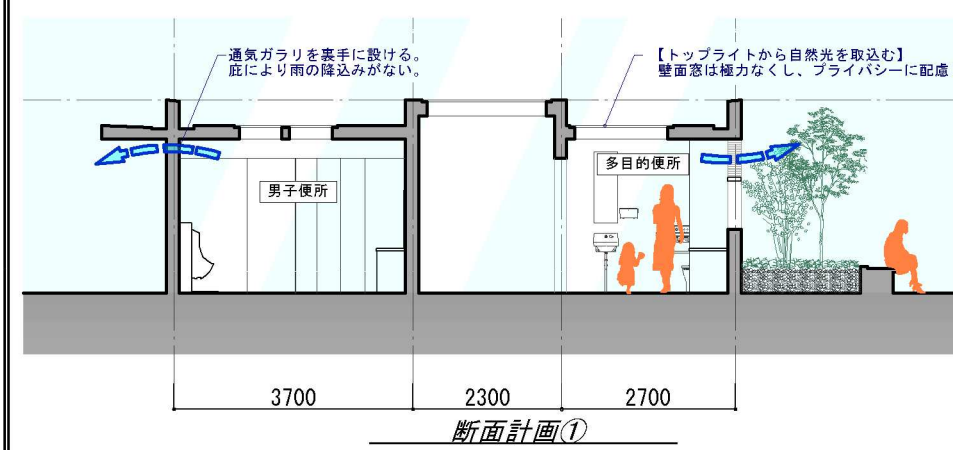
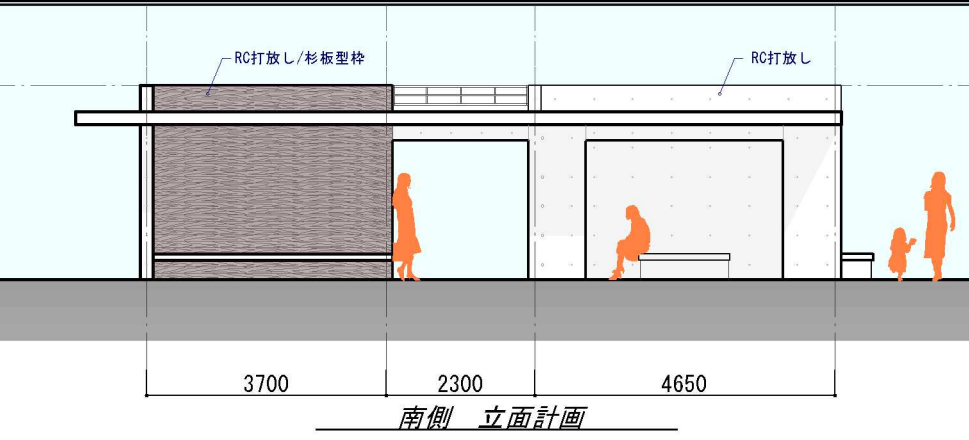
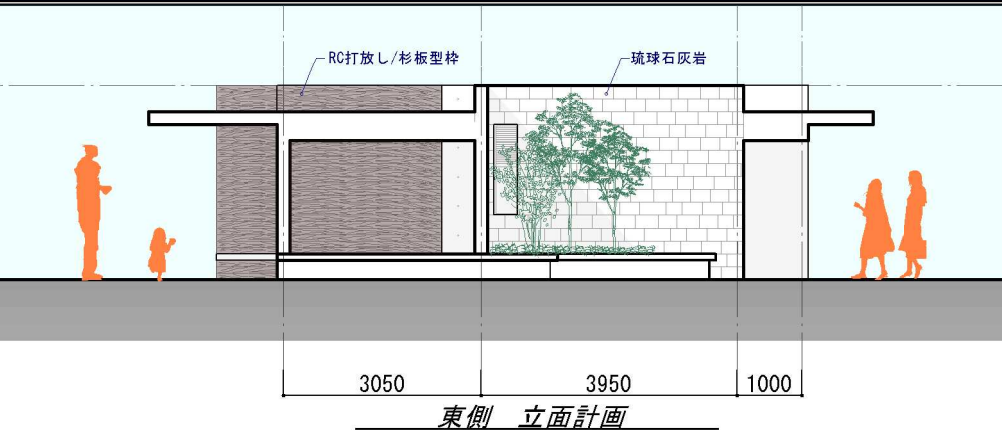
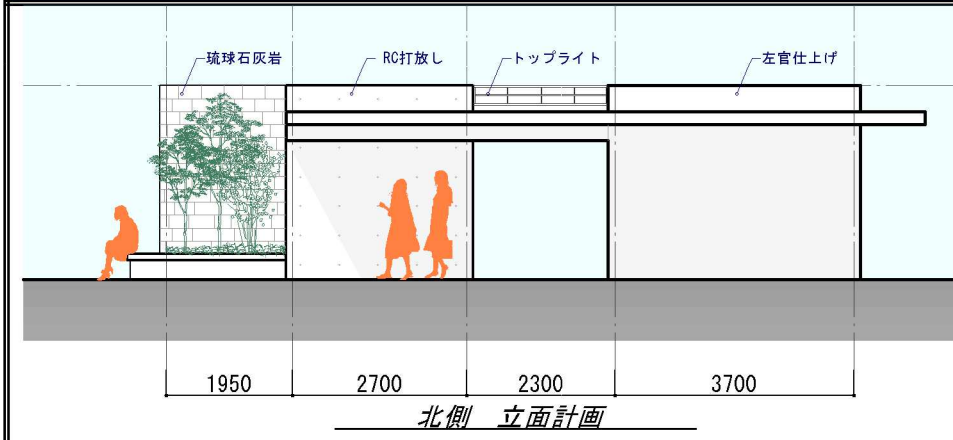


■維持管理
外部開口を内部に配置した事で、風雨の侵入を最小限にする事が出来る。屋根形状もシンプルにしている為、屋根に枯葉等が溜まった場合も掃除等の管理も容易です。

■防犯及びプライバシー配慮
各トイレの出入口は建物内側に向けて計画し、公園利用者から中が見える事はありません。中央の通路部は視線が通り、天窗から入る光で内部を明るく安心。

■休憩スペース
休憩スペースは遊具及び丘を見渡せる位置に配し、大きな庇をかけた。ベンチの形状を“コの字型”にする事によりベビーカーが入りやすいよう配慮している。

■多目的便所
赤ちゃんを連れた家族も多く遊びに来ている。オムツ交換が出来るスペースを設けることで安心して小さい子供たちを連れて来られる。利用者に喜んで頂けると思います。



■設計概要
構造：鉄筋コンクリート造
規模：平屋建て
床面積(男子)：11.10㎡
床面積(女子)：11.10㎡
床面積(多目的)：10.80㎡

■仕上げ
トブライト：ポリカーボネート板
床：磁器質タイル
壁(男子)：左官仕上げ
(女子)：RC打放し/杉板型枠
(多目的)：RC打放し/EP塗装

ティーダフラッグス2019
中城公園自然共生エリア南遊具広場トイレ